

【別紙】

■「sterा transit」関西エリアにおける導入状況

三井住友カードは、2020年7月より、クレジットカード等のタッチ決済に対応した公共交通機関向けソリューション「sterा transit」の提供を開始し、移動における利便性の向上とキャッシュレス社会の実現に取り組んでまいりました。2026年1月末時点では、全国45都道府県200を超える事業が導入を公表しており、特に関西エリアでは2024年10月に鉄道事業者4社が一斉に導入しました。関西エリアは日本有数の移動需要を持っており、その交通決済がお手持ちのクレジットカード等の一枚で完結することは、利用者全体にとって大きな価値となります。なお、関西エリアのタッチ決済乗車は、現在タッチ決済乗車を導入している事業者をまたがる相互直通利用にも対応しており、交通系ICカード同様にご利用いただけます。

(参考：<https://www.smbc-card.com/company/news/news0001956.pdf>)

2020年	11月：京都丹後鉄道
2021年	4月：南海電鉄 11月：南海りんかんバス
2022年	4月：泉北高速鉄道 10月：神姫バス
2023年	4月：奈良交通
2024年	4月：大阪モノレール・みなど観光バス・神戸市地下鉄・神戸新交通・神戸電鉄 10月：Osaka Metro・近畿日本鉄道・阪急電鉄・阪神電気鉄道・神戸高速鉄道
2025年	2月：熊野御坊南海バス 3月：北大阪急行電鉄・阪急バス・能勢電鉄 4月：山陽電気鉄道・Osaka Metro（万博周遊バス） 11月：大阪シティバス

■タッチ決済について

タッチ決済は、国内外で展開されている国際標準のセキュリティ認証技術を活用した決済方法です。対応の端末にタッチ決済対応のカード（クレジット・デビット・プリペイド）または、カードが設定されたスマートフォン等をタッチするだけで、サインも暗証番号の入力も不要※で、スピーディーかつ安心・安全にお支払いが完了します。ご利用頂ける店舗は、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設等の店舗だけでなく、公共交通機関への導入も進むなど、日常生活における利用シーンがますます拡大しています。



※一定金額を超えるお支払いは、カードを挿入し暗証番号を入力するか、サインによる本人確認が必要となります。

(sterा transitにおいては、当該運用は発生しません。)

■「sterा transit」について

(URL：<https://www.smbc-card.com/kamei/sterा/transit/index.jsp>)

sterा
transit

決済プラットフォーム「sterा」は、キャッシュレス導入に際した課題を解決するため、三井住友カードが、GMOペイメントゲートウェイ・GMOフィナンシャルゲートおよびVisaと共同で構築した事業者向け決済プラットフォームです。「sterा transit」は、「sterा」の決済プラットフォームと国際ブランドの非接触決済“タッチ決済”を活用した公共交通機関向けソリューションです。現金・事前チャージの必要がなく消費者の「利便性向上」に加え、「感染症予防対策」「インバウンド受け入れ環境の整備」「地域のキャッシュレス決済促進」等、交通分野にとどまらない幅広い効果も期待されます。また、「sterा transit」の技術は、MaaSやスマートシティの認証基盤としても活用できます。